

円陣～エンジン～



令和2年 1月 8日

根獅子小 校内研修通信 No14

文責 松田 優子

令和2年が始まりました。本年度の第3学期も始まりました。3学期は授業日数こそ少ないですが、たくさんの学習活動や行事が計画されています。子どもたちにとって次年度に向けての飛躍の時間となるよう、私たちもまずは日々の授業から更なる改善を続けていきたいと思えます。

さて、2学期末の校内研修の時に、先生方に話し合っていたことを私なりにまとめさせていただきました。本来ならば各専門部での話し合いを共有する時間を取らなければならないのですが、前回時間が取れませんでした。申し訳ありません。各専門部での報告に代えさせていただきます。

【学習支援部話し合い】

① 基礎基本の時間について（成果と課題）

△ 100マス・50マス計算は、行事等もあって、継続が難しい。

△ マス計算で2年生が指を使う。夏休み計算カードの宿題を出したが十分ではなかった。→九九は保護者の協力で定着目前。やはり、家庭の協力が必要である。

●ファイルに、活動の足跡が残るように表を作る。点数がとれてうれしいという実感を持たせるために。

●やり直しの紙を作って実施する。

●3学期より1年生も参加する。

※ 児童の実態に応じて、支援部の先生方で新たな取り組みをしていただくことになりました。子どもたちが自信をもって学びに参加するためにも基礎的な知識や技能は、不可欠です。3学期もよろしくお願いいたします。

② その他の取り組みについて

〈家庭学習の充実〉

●家庭学習を公開する。

●宿題の精選。その日の学習内容に合ったものに。

〈環境の充実〉

・寒さ・暑さ対策

・机・椅子の高さに配慮

・安全マップ（階段の）・・・大もとを作る。5年生のけがの防止で作る。子ども110番の家の確認。

〈研究発表に向けて〉

・Q-Uテストの結果の活用をどうするか。紐小のやり方を参照する。

・ホワイトボード購入したい。

・子どもたちの活動の動画を教育週間で流したい。（教育週間で地域の方や保護者に）

※今年11月に迫った研究発表に向けて、児童が学びやすい環境を整えてくださり感謝します。5・6年生は、自主学習を中心とした宿題に取り組んでいるようなので、ぜひ公開をしていただき、下の学年が学び方を学ぶ機会にさせていただければと思います。計画よろしくお願いいたします。

【授業改善部】

① 授業改善に向けての本年度の成果と課題

※話し合う時間が取れませんでしたので、それぞれの先生方にまとめていただきます。
紀要にてご紹介します。

② 人権の視点「自分なりの考えをもつことができる」での

本年度の成果と課題

- 見通しを十分に行うことができた。何を使って考えるのか。半具体物や具体物を使って考えた。子どもにとって操作活動を行うことは大変重要。操作活動の中にいくつもの学びがある。ただ、学びの内容にまたは、その児童にあった操作活動がある。そのことを研究していく必要がある。
 - 文章題の読み取り方では、たし算言葉や引き算言葉に注目させて解決を図った。
 - 子どもが食いつくような題材の工夫ができた。研究授業での3年生の友達のランドセルの重さを量る活動は、1時間の子どもたちの主体的に学ぶ姿勢を支えていた。
 - わからないことがあるときには、わからないところがどこなのかははっきりとさせた。発表する際も「自分はここがわからない」ということを伝え、それを皆で共有していくことでわからない子にも理解できている児童にも大きな学びがあった。
-
- △ 自分なりの考えかたを持たせることは、大変難しかった。ヒントカードを作る方法は行ってはみたが、それで本当の学力といえるのかは疑問。ヒントカードを作成する際は、子どもの思考を促すようなものを作る必要がある。
 - △ 教え合いの時に答えを言うてしまうことが多々あった。問題の読み取りができない児童の読み取る力をそいでしまう。アドバイスの仕方を学ぶ必要がある。
 - △ 自分の力だけでは、自分の考えをうまく説明することができないときには、リレー形式で説明してみんなで問題を解決したという実感を味わわせる方法も今後試してみる。

※ 話し合いの中で、今年度の人権の視点からの課題であった「自分なりの考えをもつことができる」は、おおむね達成できたという意見だった。意見の中にもあったように、考える手段や方法について子どもたちの引き出しを増やしてあげる（低学年のうちに）ことが非常に重要なのかなと考えました。本校は複式学級なので、掲示物なども利用できると思います。来年度の発表に向けては、さらに次の視点「お互いの考え方を認め合うことができたか」「意欲的に学び、対話的・主体的な学びができたか」についても視野に入れながら3学期も授業に取り組んでいきたいと思っています。

③ ガイド表作成について

低・中・高学年それぞれのガイド表を作成し、いつでも利用できるようにしていきたいと思っています。ただ、内容によっては、その日のみのガイド表になったり、黒板掲示を併用したり、ガイドとの打ち合わせを十分に行ったりする必要が出てきます。1・2年生も来年度の複式学級での学習に備え、ガイド学習の練習を3学期は行っていきます。ガイド表については、31年度→令和元年校内研修→ガイド表 に各学級入れていただければと思います。

